

## (理事長より)

皆さんが、すばらしい夏の訪れをお迎えになったことを願います。前回のニュースレターを発行して以来、JASEBでは様々な活動を積極的に続けてまいりました。まず、JASEBの新たに拡大した使命と戦略的計画、およびハイワードのJASEBホームを認可施設にするという決定に関して、重要な発表を行いました。また、新事務局長を雇用し、新たな使命に基づいてJASEBの「ブランド再生」をはかって、財政的に存続可能な方法で一連のプログラムやサービスを提供できるように、財源戦略を活性化することを、引き続き実行しております。

### 拡大使命/新戦略的計画

JASEBでは最近、新戦略的計画を発表いたしました。JASEB史上初となるこの戦略的計画は、JASEBのより幅広い目的を反映した使命によって支えられています。

JASEB理事会ではこの計画の策定を、長時間をかけて詳細にいたるまで実行。その結果、JASEBは取り組むべき根本的な課題に直面しており、これまで多くのことを実施してきた方法を修正して、日系コミュニティやそれを取り巻く社会の変化を反映する必要があることを決断いたしました。また、日系シニアの方々が必要としているサービスを提供していく上で、現在の資金調達モデルは維持可能ではないことが極めて明白となりました。

私どもは、コミュニティの皆さんのご意見を伺い、JASEBはシニアに奉仕するという歴史的な使命を継続すべきであること、しかしそれと同時に、JASEBはその活動範囲を拡大して、日系文化にインパクトをもたらす、振興を計ると共に、新たな使命において家族そして多世代に価値をおく組織になるべきであるというご指摘をいただきました。

「JASEBの使命は、広範におよぶサービスやプログラムによって日系文化の価値と伝統を育成・継承するために、多世代にわたる家族を団結させるコミュニティとなり、文化的組織をなることである。」

この拡大された使命は、日系コミュニティが重要視する、尊厳、信頼、自立、社会的結びつき、開かれたコミュニケーション、そして日系シニアに対する尊重によって導かれます。シニアに奉仕するという私どもの取り組みは揺るぎないものでありますが、JASEBでは、その多様性をますます深めているコミュニティにおいて、ご家族にもたらす影響の拡大を図ることを目指しています。より広範な使命の達成への移行は慎重に実行されることとなります。

### ハイワードのJASEBホームの認可取得へ

ハイワードのJASEBホーム（サイプレスハウス）についての様々な選択肢を検討した結果、JASEB理事会では高齢者向け居住看護施設（食事・介護付き施設/介護施設）として認可を受けるプロセスの開始を決定しました。

この決定により、日系コミュニティの文化、言語、高齢者介護の伝統に配慮したホームの設立が目指されると同時に、関連の法律や規制のすべてに準じて運営されることとなります。日系コミュニティの皆さんからは、ふさわしい場所で老後を過ごすことが困難となった場合に、JASEBがその代わりとなる住まいを提供してほしいという声が多くあがりました。私どもでは、安全かつ利用者の活動を促進するような環境において質の高いケアを提供するホームを目指しています。

ホームはサイズが小さいために、高度看護施設（skilled nursing facility）ではなく、食事・介護/介護施設として認可を受けることとなります。高度看護施設では、利用者に24時間の医療介護を提供しますが、小規模なホームでは財政的に実行が困難です。現在のホームへの構造上の工事や認可取得手続きが今後進行し、ホームのオープンまでには4ヶ月から6ヶ月かかることが予想されます。

(2 ページにつづく)

(1 ページからのつづき)

JASEBでは最近、ハイワードホームの閉鎖日をこれまでの2010年3月31日からさらに3ヶ月延長し、チャングウェイハウスの閉鎖日は2011年2月28日で、これは利用のご家族からの要請より2ヶ月延長され、17ヶ月間の移行期間となっています。

#### タカノ・マス氏の理事退任

JASEB理事を長年務められたタカノ氏が退任を決意されました。氏は賢明なアドバイスとリーダーシップを提供して下さる理事として、貴重な役割を果たしていただきました。また、氏は常にすばらしいアイデアと援助の手を提供していただきました。氏と私とは、JASEBに関して、何度も深夜の会話やEメールの交換がなされました。こうしたやりとりの回数が減っていくことに対して、氏はおそらく安堵されていることでしょう。けれども、氏の関与は今後も続きます。氏は理事を6月30日付けで退任されましたが、エデン一世テラス理事会の代表を引き続き務めることとなっており、さらにゴルフ委員会のメンバーとして、またJASEB運営の統合された位置を確認する、新たに構成された委員会のメンバーとしても活躍されることが期待されています。JASEBへのマス氏のこれまでのご貢献とご奉仕に心から感謝いたします。氏のような献身的なボランティアなしには、今あるJASEBの姿はなかったことでしょう。

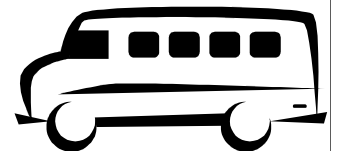
ヒロナカ・ブルース

#### **JASEBによるバンを使った試験的な送迎サービス、展開中！**

この3月より、JASEBではバンを使った試験的な送迎サービスを実施しています。利用される方は少しずつではありますが増えており、シニアの方からのこのプログラムについてのお問い合わせもたくさんいただいています。現在のところ、アルバニー、バークレー、エルセリト、リッチモンド、オークランド、アラメダなどの近隣の市でのサービスを提供、特にアラメダのシニアの方々からご好評をいただいています。皆さんはお友達と誘い合ってバンのサービスを利用。車内での会話、シニアセンターでのランチ、そして地元の日系食料品店での買物などを毎週楽しんでいらっしやいます！

この試験期間中、さらに遠い地域のシニアの方々からも要請をいただいているため、北はエルソブランテまで、南はサンレアンドロ/ハイワードまで、そして東はウォールナットクリークまで、サービスの拡大を考慮中です。この他、シニアセンターのランチ後に別の店に立ち寄ること（トレーダージョーズや薬局など）、サービス時間帯の延長（シニアセンターのクラスやレクチャー後の迎えなど）も、思考中です。

JASEBでは、シニアの方々はこの送迎サービスをさらに利用いただくために、皆さんのアイデアやご意見を募集しています。今すぐ申込んで（510-848-3560）この送迎サービスをご利用になってください！これまでのところ、乗車料金は無料ですが、間もなく料金表が発表される予定です。



ケースマネージャーのコーナー  
JASEBによる「一連のケア」を提供するプログラムとサービス  
(フィオナ・ガウ、M.A. & 宮脇クリスティーナ、M.A.、M.S.W.)

「Aging in Place、ふさわしい場所で老後を過ごす」という表現を耳にしたことがありますか？

「高齢者向け住宅ジャーナル」(“*Journal of Housing for the Elderly*”)によれば、「ふさわしい場所で老後を過ごす(Aging in Place)とは、「ニーズの変化に応じて、必要な支援サービスを確保するために、現在の住まいから引っ越さなくてもよいこと」を意味します。AARPの調査では、シニアの80%以上が、老後はできるだけ長く自宅で過ごしたいと望んでいることが分かっています。また、私たちの多くの者にとって、可能な限り長期にわたって自立した生活を送ることは最優先事項となっています。さらに、活動的であること、そしてコミュニティと緊密な関係を保つことは、私たちの生活にプラスの影響をもたらすことが、研究によって明らかになっています。毎日運動し、バランスの取れた食生活を送ることは健康な身体づくりにつながります。また、健康な身体は心の健康をもたらすものでもあります。JASEBでは、皆さんが引き続き「ふさわしい場所で老後を過ごす」ことができるように、各種のプログラムやサービスを展開してきました。言い換えれば、JASEBではシニアの方々が尊厳と自立を保てるように「一連のケア」プログラムおよびサービスを提供することで、「ふさわしい場所で老後を過ごす」ことを推進・支援しているのです。

多くのシニアの方は、60歳頃に初めてJASEBのサービスを利用されますが、80歳になった時点では、そのニーズは大きく変化していることでしょう。私どもケースマネージャーは、皆さんのニーズの変化に伴って、適切なサービスやプログラムを見つけるお手伝いをします。

例えば、ケースマネージャーは、シニアがその人生を通じて強力な社会的つながりを築くことができるよう支援します。健康で丈夫なシニアの方には、JASEBシニアセンターを訪れて、様々な活動や健康に関連する講義に参加することをお勧めしています。自立した生活の維持を支えるもう1つの要素は、健康的な食事と栄養です。JASEBシニアセンターでのランチプログラムでは、和風の食事を参加の方々と一緒に食べることでこの栄養面のニーズも満たしています。

シニアの多くの方々は、かなり高齢になるまで車の運転をされています。しかし、運転が困難になったり、危険を感じるようになった時のために、JASEBでは代わりとなるバンによる送迎プログラム(試験運転中)を提供しています。日英バイリンガルのドライバーがシニアの方々をご自宅に迎えに行き、JASEBシニアセンターまでお連れして、ランチを楽しんでいただくというものです。昼食後は、食料品の買物ができるように、皆さんがよく利用される地元のマーケットに立ち寄ってから帰路につきます。このJASEBの送迎プログラムのお申込みとご利用方法については、ケースマネージャーにおたずねください。この他に、ケースマネージャーは地域のパラトランジットや市が運営する送迎プログラム申込みのお手伝いもいたします。

外出が困難となり、シニアセンターでの各種プログラムに参加することができなくなった方々には、ランチの宅配サービスをご利用いただけます。さらにJASEBでは、自宅での介助が必要となったシニアの方々向けに介護者名簿(**Caregiver Directory**)を用意しています。ケースマネージャーが、料理、家事、身の回りの世話などの介助を提供する日英バイリンガルの介護担当者を見つける手助けをいたします。

### (3 ページからのつづき)

以上に加え、シニアの皆さんが地域社会との「つながり」を継続できるように、**JASEB家庭訪問プログラムと電話訪問プログラム**を実施しており、ケースマネージャーは外出困難なシニアの方とボランティアとを結びつける役割を果たしています。家庭訪問プログラムのボランティアは、外出困難なシニアの方を毎週1回訪問して、友好的な関係を作り上げます。また電話訪問のボランティアは、シニアの方に週に数回電話をかけて、安全面や健康状態を確認します。

このように、JASEBの「一連のケア」プログラムおよびサービスは、皆さんが目指す「ふさわしい場所で老後を過ごす」ことを支援しています。JASEBのケースマネージャーによる様々なサービスを、シニアの皆さんのニーズの変化に伴って、十分ご利用いただけることを願っています。ニーズが小さすぎるとか大きすぎるといことは決してありません。ぜひJASEBのケースマネージャーにご連絡ください。電話番号：(510) 848-3560.

### 第20回JASEB招待ゴルフトーナメント-勝利は今年もイーストベイのシニアが獲得

第20回JASEB招待ゴルフトーナメントが、輝く日射しとそよ風のもと、ナパにある美しいイーグルバインズゴルフクラブで5月7日に開催されました。多数のゴルファー、寄付をいただいた方々、スポンサーやボランティアの皆さんからのご支援のおかげで、今年も成功を収めることができました。このトーナメントによって調達された資金は、試験的に実施中の送迎プログラムの支援に用いられます。

イーグルバインゴルフクラブのコースには、ブドウ園や湖が含まれており、かなりの難関を控えています。2人組ベストボールの優勝は、ネットスコアで61を記録したヤマグチ・グレン氏とゴードン・マッコリー氏の手に渡りました。二位にはわずかの差でサタケ・アル氏とトミネ・ユージーン氏に、そして三位はビクター・ジン氏とベン・カーデナス氏の組が獲得しました。

また、ローグロスの勝者は、72のスコアをあげたニール・ホー氏が、ローネットスコア部門ではジェームズ・オルムステッド氏が71でトップとなりました。女性部門ではアキヤマ・チヒロさんが優勝。キャラウェイプライズはモリノ・ジェリーさんが手にしました。この他に、ニアピンと最長ドライブを記録した参加者にも賞が授与されました。

パー3ホールインワン賞はまたもや該当者なしとなってしまいました。イーグルバインのシグナチャーホールである、6番ホールのホールインワン賞(賞金1万ドル)は、MIF保険代理店(フジタ・デイビッド氏およびヤマモト・ディック氏)の提供によるものです。ニセイ・プラスチック(ハヤメ・レイ氏)からは12番ホールのエースに対してゴルフクラブ一式の寄付を受けています。

多くのプレーヤー、スポンサーそしてボランティアの方々にご参加していただいたことについてこの日のハイライトは、トーナメント後のすばらしい夕食でした。今年初め、ナパバレーマスタードフェスティバル賞を授与された、シェフ、ヨシさんが、ビュッフェスタイルの食事の用意をしてくださいました。司会はヤマシタ・アービングさんが、ドアプライズの抽選はテカワ・マーシュさんがしてくださいました。JASEB理事会が寄付した特賞の500ドルは、ヨネムラ・トッド氏が獲得されましたが、氏はその金額を快くそのままJASEBに寄付してくださいました。

ご協力いただいたスポンサーおよびボランティアの皆様に深く感謝いたします。

## バークレーアダルトスクールに関する変更点

長年にわたり、バークレーアダルトスクール (BAS) は、JASEBシニアセンターで様々な体操教室を無料で提供してきました。BASは、バークレー統一学校区 (BUSD) の援助のもとで運営されているものです。ところが、2009年、BUSDではBASのプログラムの大幅な予算削減を余儀なくされました。2009年夏のプログラムは取りやめになり、秋のクラスでは参加費が徴収されるようになりました。こうしたことから、今年の1月以来、JASEBではシニアセンターでのクラスに対する今後の資金援助について、不確定なままに運営してきたのです。幸いなことに、今年6月にBASはプログラムの若干の削減はあるものの、存続することが決定しました。また、JASEBシニアセンターで行われているすべてのクラスも、時間が多少短くなりますが、継続されることになりました。

会合に参加し、BASのクラスが健康な生活づくりに貢献してきたことを述べてくださった皆さんに、感謝いたします。JASEBシニアセンターのクラスの続行に活発な役割を果たしてくださった、「瞑想的な動き (Meditative Movement)」のインストラクターであるキャサリン・デイビスさんには、特にお礼を申し上げたいと思います。

メモ：夏のクラスは2010年6月21日から始まっています。申込み費は15ドルで、チェックはJASEB宛てにお願いいたします。各クラスの存続には皆さんのご参加が極めて重要です。参加人数が18人未満になるとクラスがキャンセルされることとなります。できるだけ多くの方のご参加をお待ちしています！

## 2011年発行の25周年記念カレンダー - コミュニティサポートの輪 (Community Circle of Support) とは?

JASEBでは、これまでコミュニティサポートの輪 (CCS -Community Circle of Support) にご参加いただいた方々に、心からお礼を申し上げます。ところで、皆さんの中には、CCSのことをご存じない方もいらっしゃることでしょう。これは、近年のJASEBカレンダーの中に紹介されている、寄付をいただいた方々のリストです。さて、これはどういう方なのでしょう？ CCSに寄付することにはどのような意味があり、また、CCSに参加するにはどのようにしたらよいのでしょうか？

CCSが初めてカレンダーに記載されたのは、1999年のことであり、毎年恒例のJASEB資金調達活動を更新するものであること以外には、ほとんど説明がされていませんでした。当時は、カレンダーの製作および郵送の費用を確保するために、JASEBを支援してくださる少数の方々に寄付をお願いしていました。100ドル以上の寄付をした方が、このCCSに含まれることになっており、たくさんの方々がそれ以上の金額を提供してくださいました。その後、このCCSリストは次第に拡大し、寄付額はカレンダー関連の費用を賄うだけでなく、ケースマネジメントやシニアセンターの活動など、JASEBが提供している重要なサービスに必要な資金としても用いられるようになりました。どなたでも、CCSのメンバーになっていただけます。CCSのメンバーになると、寄付していただいたことがJASEBカレンダーに記載され、11月にはカレンダーが2部お手元に郵送されます。これまでCCSに参加したことはないが、2011年には参加したいとお考えの方は、ぜひJASEB事務所のキンバリーに、2010年7月23日 (金) までにご連絡ください。電子メールでのご連絡は (Kimberlee@jaseb.org) まで、お電話での連絡は (510-848-3560) までお願いいたします。

シニアのための美容デー！  
ヘア、爪、  
お肌のための美容院  
2010年7月12日（月）  
正午

新しいヘアスタイルにしたり、マニキュアを塗ってもらうと、幸せな気分になりますよね。お友達と一緒に美容院で「美容デー」を過ごすのも楽しいものです。

日本で精神医学ソーシャルワーカーの訓練を受け、美容療法士の認定を受けている、ヒラヤマ・アキさんが、JASEB初の美容イベントで皆さんを美しく変身させていただきます！アキさん

は、シニアや障害を持った方々を美しくすることから生まれる癒しの特性を研究されており、こうした知識を皆さんと共有したいと願っています。アキさんは、皆さんの爪にマニキュアを塗り、ヘアスタイルを整え、さらにはメイクアップまでしてさせていただきます。おしゃれを楽しめるこの特別な日にぜひご参加ください。健康と安全上の理由から、メイクアップ用品、マニキュア、ヘアブラシなど、当日アキさんに使っていただきたい道具等をご自分でお使いのものをご持参ください。

11時半からのランチを予約したい方、12時からの美容デーに参加を希望される方は、ビッキーまでお電話でお申し込みください。（電話：510-883-1106）

JASEBシニア  
センター  
リソースフェア  
2010年9月13日  
（月）正午

地域のシニアサービスについて最新の情報をお持ちですか？

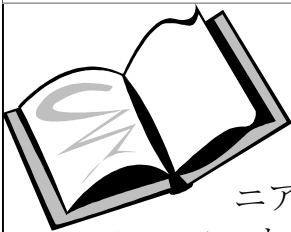
来る9月、JASEBのケースマネージャーが地域の様々なリソースに関する最新の資料を紹介いたします。これらの資料には、各種サービスの申込書、シニア向けガイドブック、シニアに関連する病気や問題についてのパンフレット、その他にも多数が含まれます。また、当日はケースマネージャーが会場でサービスについて説明する

ほか、個別の相談に関する予約も受け付けることになっています。普段から疑問に思っていること、知りたい内容などがありましたら、ぜひ当日会場でおたずねください。また、大切な資料を持ち帰るための袋もご持参ください。

JASEBシニアセンターでのランチを召し上がった後は、ぜひこのリソースフェアに参加して下さい。午前11時半からのランチを希望の方は、ビッキーまでご連絡ください。電話：(510) 883-1106



### バークレー公立図書館との提携



予算削減は、JASEBとバークレー公立図書館のアウトリーチプログラムとの提携関係にも影響を与えています。2010年7月より、JASEBシニアセンターへの訪問は隔月の第3水曜日となります。幸いにも、コリーン・ファウリーさんは引き続き、日本語の書籍や雑誌を日系シニアのために持ってきてくださることになりました。シニアの皆さんは、コリーンさんが訪れるのをそれはそれは楽しみにしています。

コリーンさんはまた、ニッティングBのクラスの参加者に編み物の講師も努めてくださいました。編み物のことならどんなややこしい問題も、見事に解決して下さったコリーンさんに感謝いたします。予算削減によって、このクラスを継続することができなくなりましたが、退職後にまたクラスを再開して下さるかもしれません！

**AARPの安全運転再教育コース**  
**2010年7月27日(火)**  
**午前9時から午後1時**

JASEBでは、50歳以上のドライバーの方向けに、短時間のAARPの再教育コースを主催します。参加者は過去4年間に「AARP 55アライブ・成人向け運転」クラスを修了している方に限られます。AARPのボランティアであるピート・シュナイダー氏が、この1日コースを指導して下さることになっています。このプログラムは、カリフォルニア州DMV (Department of Motor Vehicles)の認可を受けており、この再教育コース修了後、車両保険会社より保険料の減額が受けられるかもしれません。

このクラスでは、運転技術の調整や最新の道路法規の知識の確認などを行います。また、年齢に伴った通常の身体的変化や、こうした変化に対応するための運転時の適応方法なども学びます。ここで学んだ内容が交通違反や、衝突事故、さらには負傷などの減少につながることでしょう。

参加人数は30名に限定されています。参加費はAARPメンバーは12ドル、メンバーでない方は14ドルです。小切手による支払いのみに限られます。参加を希望される方は、AARP宛のチェックをJASEBまで送付してください。申込み締切りは2010年7月12日、または定員に達した時点で締め切られます。さらに詳しい情報をご希望の方およびコース参加を希望される方は、JASEBシニアセンターのビッキーにご連絡ください。

### **JASEB日帰り旅行**

今年ももう半分が過ぎてしまいましたが、JASEBの日帰り旅行委員会は、これまでにたくさんの楽しいシニア向け日帰り旅行を準備して下さっていました。現在、7月、8月、9月の日帰り旅行の確認中です。皆さんには、連絡が入り次第お知らせしますので、もうしばらくお待ちください。現在訪問先として候補に挙がっているのは、パンドラ、桃農場、海洋ほ乳類センター (Marine Mammal Center) です。シニアセンターでパンフレットをご覧になるか、JASEBのウェブサイト ([www.jaseb.org](http://www.jaseb.org)) をご利用ください。

### **宮脇クリスティーナさん、ワシントン大学の博士号課程に入学！**

サヨナラを言うのはいつでもつらい事です。でも自分がとても親しく大切に思っている人達にサヨナラを言うのは、もっとつらい事です。この事を皆さんにお伝えするのは、私にとってとても寂しいことですが、この6月で、私はJASEBを辞めることを決心しました。この9月から、シアトルにあるワシントン大学で、社会福祉学の博士課程で老人学の勉強を続けることになりました。ですから、お年寄りの方々と直接接することが当分の間なくなります。これからはお年寄りの精神面の健康についての研究をし、お年寄りの精神健康のためになる社会政策の改正のお手伝いをしていきたいと思っています。皆様と一緒に、そして皆様のために働かせていただいたこの1年8ヶ月間は、とても楽しく過ごすことができました。皆様から学んだ人生の教訓は、忘れずにシアトルに持っていきます。これからはどうぞ皆様、心身の健康管理のための毎日の運動をかかさずがんばって下さい。ありがとうございました！

宮脇クリスティーナ

## ランチプログラムについての変更点

ランチプログラムは、JASEBにとって、重要な役割を果たしています。シニアの皆さんが、ふさわしい場所で老後を過ごすこと、自立したライフスタイルを維持すること、そして武蔵レストランからの仕出しによるおいしくて栄養のある和風/アジア風の食事を楽しむことを、ランチプログラムは援助しています。JASEBでは、宅配ランチをご利用の方や、シニアセンターでのランチ参加者から多くの好評をいただいています。できる限りこのランチプログラムを続けていくことが極めて重要であると、JASEBでは考えています。

残念なことに、JASEBではトライシティーランチ資金を予算削減により失ってしまいました。削減前の状態においても、毎年大幅な赤字を記録していたため、この資金を欠くことは、より以上の課題をランチプログラムにもたらします。皆さんからのご寄付、ことに毎年恒例のファインスタイン・チャレンジは非常に大きな助けとなっています。しかしながら、JASEBではランチプログラムを現在のレベルで運営してゆくために、予備金を引き出すことを毎年余儀なくされてきました。残念ながら、準備金の引き出しはますます困難になってきています。

### 何度かの会合の結果、以下の決定を出すに至りました：

1. ビタミンAとC、およびタンパク質について1日の必要量の3分の1を含む食事を提供するよう努める。
2. 牛乳を飲む参加者が極めて少数であるため、お茶は引き続き提供しますが牛乳の提供を中止する。
3. 「寄付額」ではなく1食4ドルとする。ただし週に1回のみランチ利用者には、5ドル、60歳未満の利用者は各週の利用回数を問わず8ドルとする。この件について、ご質問のある方はビッキーにおたずねください。

**新料金について：**これまで政府からの資金援助を受取ってきたために、JASEBでは食事に対して政府が確立した金額を「寄付額」として提示することのみが可能でした。「寄付額」ではランチの費用を賄えないため、JASEBでは資金調達を行い、準備金を使って、ランチの総費用（ランチそのものの費用だけでなく、給与、家賃、保険等も含む）と受取った「寄付額」との差額を支払ってきました。

ほとんどのシニアの方々は仕事をしておらず収入が固定していることから、JASEBではランチの費用をできる限り低額に維持しようと努めてきました。新しい料金構成は2010年7月1日から導入されます。新料金の4ドルでは、これまでお願いしてきた寄付額と同様、1食の費用を依然として賄えないことにご留意ください。シニアの方々にとってのこのランチプログラムの重要性を認識し、JASEBでは引き続き、このプログラムに関連する費用の削減方法を探っていくつもりです。こうした取り組みについては重要なことですので、今後も皆さんにお知らせいたします。皆さんからの長年にわたるご支援に心から感謝いたします。

### ファインスタイン・チャレンジ、ランチプログラムに大いに貢献！

2010年度のファインスタイン・チャレンジに寄付をご提供くださった方々に、あらためてお礼を申し上げます。ファインスタイン基金（Feinstein Foundation）によるこのチャレンジは、米国内での飢餓と対抗することを目指しており、JASEBは今回も参加いたしました。今年はこれまでの記録を塗り替える307名の方々から、総額で27,299ドル以上（諸経費を含む）の寄付をいただきました。この資金は、JASEBが引き続きシニアの皆さんに年間7,000食以上のランチを提供すること、さらにこのランチプログラムの年間赤字を減少するために使われます。皆様のご支援に心から感謝いたします。